

就活に役立つ!

キャリアデザインに役立つ!

大学生・
高校生の
ための

FP資格 ガイドブック



ひとりひとりの夢をかたちに

日本FP協会

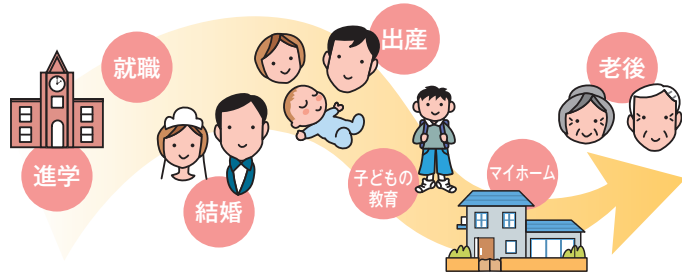
FP (ファイナンシャル・プランナー) ってなんだろう？

—あなたとあなたの家族の夢や目標をかなえるパートナーです。—

ひとりひとりの夢や目標 = ライフプランをかなえるためには、計画的に資金を用意しておくことがポイント。あなたの夢や目標に対して総合的な資金計画を立て、経済的な側面から実現に導く方法が、ファイナンシャル・プランニングです。

ファイナンシャル・プランニングには、家計にかかわる金融、税制、不動産、住宅ローン、生命保険、年金制度などの幅広い知識が必要になります。

人生 100 年時代に向けて、これらの知識を備えあなたの夢や目標がかなうように一緒に考えサポートするのが、FP = ファイナンシャル・プランナーです。



CONTENTS

FP (ファイナンシャル・プランナー) ってなんだろう？	1
FP にどんなことが相談できるの？	2
FP が活躍するフィールド	3
企業で評価される FP 資格	4
FP 資格を取得した学生のみなさんにインタビュー！	5
企業で活躍する FP にインタビュー！	8
わが社における FP 資格の活用	9
世界が認める CFP® 資格 ~ FP の頂点~	10
FP 資格取得のためのモデルケース	11
~ FP 資格にチャレンジしよう！~ 目標を定めよう!!	13
試験制度	15
日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 (日本 FP 協会) ってどんな団体？	17
Q&A ~ FP に関する素朴な疑問~	18

※インタビュー記事に記載の情報 (所属等) は取材当時のものです。



FP にどんなことが相談できるの？

FP は個人と家族の日常生活にかかわるお金の相談に対して総合的に相談にのることができます。「自分にとって必要な保険は何だろう」「住宅ローンのしくみについて知りたい」「急にお金が必要になったが、何を解約するといちばん損なくて済むのかわからない」「老後の資金が不足するのではないかと不安」。あなたのライフスタイルや価値観、激動する経済環境を踏まえながら、希望に沿って家計や資金などの状況を分析します。そのうえでトータルな生活設計や資金計画を提案し、その実行を支援します。FP の守備範囲は広く、生活設計、教育資金、住宅資金、保障設計、年金、金融商品、税制・相続関連などの相談に応えてくれます。

FPが活躍するフィールド

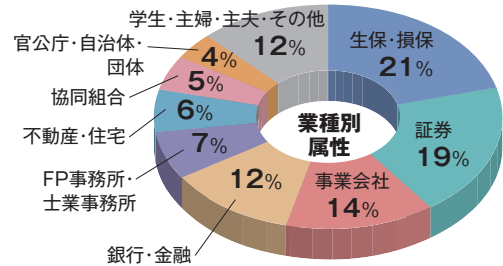
FPはいま、ここにいる！



社会で活躍しているたくさんのFP

FP（ファイナンシャル・プランナー）の多くは企業内で活躍しています。銀行・証券・保険などの金融業界でコンサルティング営業をしたり、不動産会社で住宅購入のための資金計画のアドバイスをしたり、一般企業で従業員の福利厚生を充実させたり、医療機関において介護サービスの活用を促進させたり、といったように様々な分野でFPの知識が活用されています。

FP になる人ってどんな人？



(日本FP協会の資格認定会員属性より)
*自己申告に基づくものとする。
(2026年1月現在)

企業で評価されるFP資格

企業におけるFP資格のニーズが年々高まっています。資格取得を推奨したり、昇格要件に設定するなど、FP資格の取得を積極的に推進している企業が多数あります。

企業のFP資格取得支援事例

A生命の場合

- ・昇格要件の一つに設定
- ・資格維持支援
- ・資格取得時一時金支給

B証券の場合

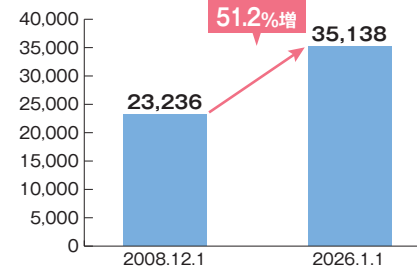
- ・資格取得推奨
- ・資格維持支援
- ・受験料補助

C銀行の場合

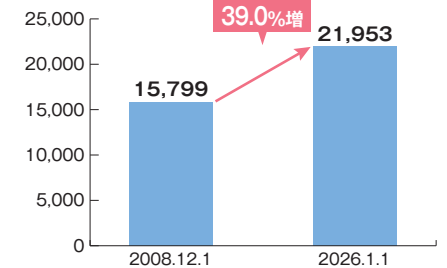
- ・昇格要件の一つに設定
- ・新入行員取得推奨
- ・受験料補助

AFP、CFP®資格取得者数の推移(主な業態別)

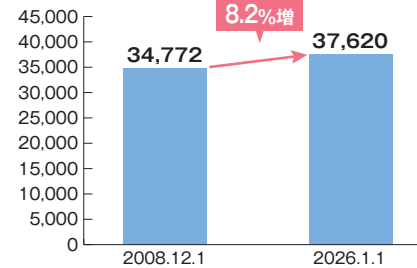
証券会社



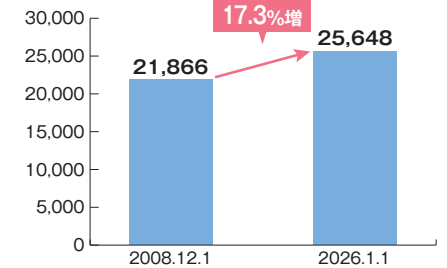
銀行・金融



生命保険会社・損害保険会社



金融機関以外の会社



FP資格のニーズの高まりを受け、企業での資格取得者数も増加しています。

FP資格を取得した学生のみなさんにインタビュー!

3級FP技能士

商業科2年次の授業選択の際に、FP資格が取得できるマーケティングやマネジメントのビジネス分野を選択しました。FP資格は卒業後、社会に出た時自分の生活の中で一番役に立つ資格だと思ったのが理由です。

3級FP技能士の取得に向けた学習を通じて、高校ではあまり詳しく勉強することのない保険や税金、金融などの実践的な知識を得ることができ、資格取得後はニュースや新聞記事など意味の分かることが増え、大人との会話の幅が広がりました。

授業内で先生が分かりやすく一つひとつ丁寧に時間をかけて解説してくれたため、実生活にどう活かせるかをイメージしながら学ぶことができました。部活に所属しながらも無理なく勉強することができました。

卒業後は事務職として就職します。社会人として自分の生活にFPの知識を活かすことはもちろん、資格勉強の中で得た、財務の知識や社会保険制度、福利厚生などの知識を仕事に活かしたいです。



船橋市立船橋高等学校
商業科
3年生
内田 楓さん

2級FP技能士

金融業界に興味があり、将来的にはそこで働きたいと考えていましたが、金融の専門知識が不足していると感じたため、まず3級FP技能士を取得しました。3級FP技能検定合格後、さらにお金の仕組みやライフプランニングを学びたいと思うようになったことと、就職活動にも有利に働くと思い2級FP技能士を取得することを決めました。

FP資格を取得して良かった点は、就職活動をする中で金融や保険の業界で働く可能性が広がり、キャリアの選択肢が増えたこと、また、お金に関するアンテナが高くなったことにより日々のニュースや情報に対して、自分の意見を持つことができるようになったことです。

基本的には、大学の試験対策講座の授業動画とテキストを使って勉強しました。過去問題を解くことで、自分の得意・苦手な分野を見つけ、間違えた箇所や理解が不十分な箇所を中心に復習しました。試験直前には、過去問題や模擬試験を時間を計って解くことでスピードを磨きました。

2級FP技能士資格の取得に向けた学習を通じて、資金計画、年金・保険、資産運用、税金、不動産、相続・事業承継などの幅広い分野について学ぶことができました。私は、大学卒業後、金融・保険業界に就職したいと考えています。その理由は、FP資格の勉強で培ったお金に関する知識やスキルを活かして、お客様のライフプランニングや資産形成のサポートができる仕事に興味があるからです。



立命館大学
法学部
3年生
岸 凌大さん

3級FP技能士

入学後、FPがどのような仕事に役立つか調べたところ、就職活動で有利になるだけでなく今後の生活設計にも役立つことが分かり、FP資格取得に挑戦してみようと思いました。また、幅広い年代の人にニーズがある資格であることを知り、学生のうちに取得しようと思いました。

FP資格を取得して良かった点は、今までよくわからなかった社会保険や税金の制度などを詳しく学ぶことができたことです。高校生までは、社会保険や税金は身近に感じていませんでしたが社会人になる前に、知っておいた方が良い様々な公的制度を知ることができ、自分自身だけでなく家族などの身近な人にも伝えられると思いました。

FPの講義では、様々な用語の意味や説明を受けました。また、過去問題を使って解法のテクニックを学びました。検定前には、過去問題を繰り返し解き、合格点が連続して取れるようになるまで勉強しました。また、空き時間にはスマホの学習アプリも使って取り組みました。

私は周囲の方から信頼される事務職員になりたいと考えています。ライフプランニングの知識や年金、社会保険など、FPで学んだことを活かして、社員の方が働きやすい環境整備に貢献していきたいと思っています。また、自分自身に限らず家族や親戚のライフプランにも活用していきたいと考えています。



湘北短期大学
総合ビジネス・情報学科
1年生
及川 友佳さん



日本大学
商学部
3年生
根本 珠帆さん

2級FP技能士

私は、もともとお金の流れや経済に興味があり、1年生の時に簿記の資格を取得しました。その後、先生より「勉強する習慣ができたのであれば、他の資格も取得してみてもいい」との助言があり、FP資格の勉強を開始し、2年生の時に2級を取得しました。

大学生は遊ぶことも大事ですが、自分の興味のある分野を勉強することも必要だと思います。特にFP資格は6分野あり、それぞれ宅建や社労士などにつながる資格でもあるので、FP資格を勉強することで新たな分野への興味が湧ききっかけになるかもしれません。少しでも、FPに興味を持った方は、ぜひ受験していただくことをお勧めします。これから就職活動がはじまりますが、FP資格を活かせる業界への就職を目指していきたいと思っています。

大学生で CFP®試験 全課目合格しました！

AFP認定者

中京大学 法学部 3年生
河合 遼さん



Q1. FP資格を取ろうとしたきっかけは？

私がFPを取得したきっかけは、大人として生活していくためにお金の知識を身に付けたいと考えたからです。大学2年生になった年に成年年齢が18歳に引き下げられ、当時19歳だった私でも、法的には大人として認められ、自由に契約を行えるようになりました。しかし、何の知識もない私が大人として生活していくか不安になり、これから関わることになる保険、年金、相続などの知識を身に付けたいと考え、2級FP技能士の取得を志しました。その後、より専門的な知識を身に付けるためCFP®試験の全課目合格を目指しました。

Q2. 就職活動においてFP資格はどのように役立ちましたか？

私は金融関係への就職を志望しており、より優位に就職活動を進めるためにCFP®試験の全課目合格を目指しました。就活においてOB・OG訪問やインターンシップに参加した際、CFP®試験に全課目合格していることを伝えると「まだ私も持っていないのに、大学生のうちから合格するのはすごいね」「是非うちの会社に来てほしい」などと言われることが多く、まだ3年生で本格的に就活を始めていないにも関わらず、CFP®試験の全課目を合格していることで、就活を優位に進められていると実感しています。

Q3. FP資格を取得して良かった点は？ また、自分の生活に役立った点は？

日常生活において、FPの知識は大いに役立つ

ています。私が特に実感したのは、公的年金における学生納付特例制度を利用したときです。20歳になれば、公的年金の保険料の納付が義務になりますが、学生であれば納付が猶予されます。CFP®資格の知識があれば、公的年金の受給額を計算できるため、学生納付特例を利用してその後を追納した場合としなかった場合の将来貰える給付金額を比較し、追納するかどうかを検討できました。また「リスクと保険」では、保険約款から読み解く問題があり、約款に関する知識を身に付けられるため、日常生活において保険を契約する際にも、約款を読み内容を十分に理解したうえで契約することができます。これらの点で、CFP®資格で身に付けた知識が日常生活で役に立っています。

Q4. これからFP資格取得を目指す大学生のみなさんにアドバイスををお願いします。

CFP®資格審査試験では、2級FP技能検定よりも出題範囲が広く、深い知識が問われます。そのためより多くの知識を取得し、複雑な計算も行えるようにしなければなりません。しかし、CFP®資格審査試験は1課目から受験、合格できるため、計画的に受験すれば、負担を減らしながら、全6課目合格することができます。試験は決して簡単ではなく、より多くの学習が必要にはなりますが、それに値するほどのメリットはあります。FPで身に付けた知識は、一生使える知識です。ぜひ全6課目合格を目指して頑張ってください。

企業で活躍するFPにインタビュー！

CFP®認定者

株式会社池田泉州銀行 阪上 尚平さん

Q1. 現在の業務内容を教えてください。

支店で主に法人向けの営業（融資の提案、新規先の開拓）を行っています。

Q2. FP資格を取ろうと思ったきっかけは？

大学4年生で2級に合格しました。当行に内定が決まり、準備できることはないかと、大学のキャリアアップ講座でFP資格の説明会に参加したのがきっかけです。税金、年金、資産運用、ライフプランと幅広い知識が学べることに興味を持ちました。就職で必要だからという以上に、自分の人生設計に必要な知識ばかりで、どんどんのめり込んでいきました。CFP®資格は、社会人になり、本部の富裕層向け相談業務を行う専門部署に異動したことがきっかけです。お会いする方はすでに知識を有している方が多く、より高いレベルの知識が必要だと感じ取得しました。

Q3. 仕事でFP資格をどのように活用していますか？

現在の法人向け営業では、代表者・オーナーに対し、資金調達のニーズをヒアリングしながら、資産運用、相続、税金、事業承継の相談に乗っています。また、従業員の方への住宅ローン、年金保険、iDeCo、NISAの推進でもFP知識をフル活用しています。CFP®資格を保有する金融機関の担当者はまだ少ないらしく、安心して相談できると仰っていただけるお客様も多く、資格の威力は絶大だと感じています。

Q4. 今後の目標を教えてください。

法人・個人関係なくすべての人に、相談して良かったと思ってもらえるような銀行員になること、より専門的な知識を習得して、お客様の期待を超えてアドバイスができる銀行員になることを目標にしています。

Q5. 学生のみなさんにアドバイスをお願いします。

皆さん一人ひとりに平等に与えられているのは「時間」。どのように使うかは自分次第。自分自身を見つめ直す良い機会だと思います。悩んだり、不安になることは誰にだってあります。悩むということは自分が前に進んでいる証拠です。そんな時こそ、まず一歩を踏み出しましょう。それから、①さまざまな経験を②単位は前倒しで取得しておく③お金を貯めておくこと。卒業旅行に行くにもお金は必要です。FP資格の知識を活かして賢く、計画的に貯金してみたいかがでしょうか？ 何でもやってみる。やってみて分かることがある。私は今フルマラソンに挑戦するため練習に励んでいます。悔いのないよう、精一杯頑張ってください。



わが社におけるFP資格の活用

当社では、「一人ひとりが持つ多様な視点・個性を活かしつつ、常にお客様視点に立ち、仲間と協調して長きにわたり社会的役割を誠実に遂行し、自律して成長し続ける人材」を育成するため、多様な人材育成取組を行っており、幅広い知識や“個”有の強みの獲得に向けて、資格の取得をはじめとした主体的な取り組みを後押ししています。

さまざまな資格の中でも、FP資格は、金融機関に勤務する企業人にとって、コアとなる資格の一つと位置付けており、取得に向けて、専門学校と提携して制作した試験対策講座を希望者が自由に視聴できるようにする等の支援を行っています。

学生の皆さんにとって、FP資格の取得は、幅広い金融知識の習得のみならず、ご自身のライフプランニングをする上でも有用な勉強となるはずです。また、FP資格取得に向けた研鑽を通じて、多くのファイナンシャル・プランナーが活躍する生命保険業界にも興味を持っていただければ、とても嬉しく思います。皆さんの積極的なFP資格の取得を通じた皆さんの挑戦を応援しております。



日本生命保険相互会社
人材開発部 部長
高木 寛和氏



大和証券株式会社
人事部 人材開発課長
下山 裕介氏

当社が CFP®資格取得に取り組む理由は、当社の企業理念とビジネスが、CFP®資格の目指すところとベクトルが同じであり、親和性が高いことにあります。お客様を第一に考え、誠実さと高い専門性をもって、お客様の期待に応えるという理念。お客様の人生に寄り添い、お客様の目指す理想の未来に向かって、長期的かつ包括的なコンサルティングを行うこと。これは、まさに当社が目指しているところであり、お客様から信頼され、選ばれるためにも、世界が認めるプロフェッショナルFPの証である CFP®資格を取得するよう、社内でも強く推奨しています。その結果、2020年に国内企業で初めて CFP®認定者が1,000名を超え、大和証券社員の約7人に1人が CFP®認定者ということになります。

CFP®資格は難易度の高い資格ですが、だからこそ、お客様にプロフェッショナルとしての価値を提供できると考えています。お客様の期待を超えるコンサルティングを提供し、お客様に喜んでいただくことが、当社ビジネスの醍醐味です。まずはAFP資格の取得からは非チャレンジしてみてください。

世界が認めるCFP®資格 ~FPの頂点~

1973年に米国で世界初のCFP®認定者が誕生して以来、2025年末現在で世界のCFP®認定者は23.6万人に上ります。高度な知識と経験だけではなく、高い職業倫理を身に付けたCFP®認定者は、世界で認められた共通水準のファイナンシャル・プランニング・サービスを提供できるプロフェッショナルであり、CFP®資格はいわば「FPの頂点」とも言える資格です。

●28カ国・地域で認定 ●世界のCFP®認定者数23.6万人*

*2025年末現在。日本のCFP®認定者数は2.7万人で世界3位。

●海外のCFP®実務家の声

レイ・フェラッラ氏 CFP® (アメリカ)

CFPボード元チェア、ProVise Management Group, LLC 創設者兼エグゼクティブチェア

CFP®実務家として45年間、一日たりともこのキャリアを選択したことを後悔した日はありません。

アメリカの企業では、私達と同じように真のファイナンシャル・プランニングを行う会社は、CFP®資格の強みをよく分かっています。単なる「商品」を売るだけの企業は、真のファイナンシャル・プランニングを行っていないので、これに気づけません。大切なのは、「常に」顧客の利益を優先させた結果を出す、ということです。

CFP®認定者とは、専門家として「単に商品売る」人ではない、真のプロフェッショナルである素晴らしい証なのです。



マルゲリータ・チェン氏 CFP® (アメリカ)

Blue Ocean Global Wealth 社 創設者・CEO

私がFPの専門家になろうと思ったのは、ファイナンシャル・プランニングのパワーを強く信じたからです。ファイナンシャル・プランニングは人々の人生を変える力があるのです。そのためには顧客との良い関係を築き、育てていく必要があります。すべての人が専門的力のある倫理的なFPアドバイスの重要性に気づき、FPのサービスを利用できるようになることが大切です。

CFP®認定者で良かったと心から思うのは、この職業が知的な刺激と喜びに溢れているからです。また、経済的な恩恵も受けることができます。尊敬される CFP®認定者は、顧客とその家族、そしてコミュニティに良い影響を与えることができます。

●CFP®資格取得を推進している企業の声

スティーブ・ヘルミッツ氏 (オーストラリア)

FPSB理事会元チェア、元AMP勤務

私は長年、企業におけるCFP®資格の取得促進に携わっていますが、常に変化する市場において、ファイナンシャル・プランナーの実務能力が最新に保てているかを確認するために、継続教育を受けることは必須であると実感しています。この重要性を理解しているオーストラリアの企業では、CFP®認定者しか雇用しない所も多くあります。顧客の間でも、CFP®資格を維持するために継続教育の単位を取得しなければならないことについて知られており、資格そのものの認知も高まっています。

CFP®資格の継続教育こそが顧客へ大きな安心感を与え、また、企業の信頼を導いていると言えるでしょう。



FP資格取得のためのモデルケース

～3級FP技能士からCFP®認定者までの道のり～

まずはFPの基礎レベルである3級FP技能検定からのスタート！ 就活でさらにアピールするには2級FP技能検定合格を経てAFP資格まで取得しておきたいところです。早い時期から、スケジュールを組んで学習しましょう。FP資格は社会人になってからも自身の生活や仕事で大いに活かしていくことができます。FP資格を取るからには最高峰の資格であるCFP®資格の取得も目指せると良いですね。

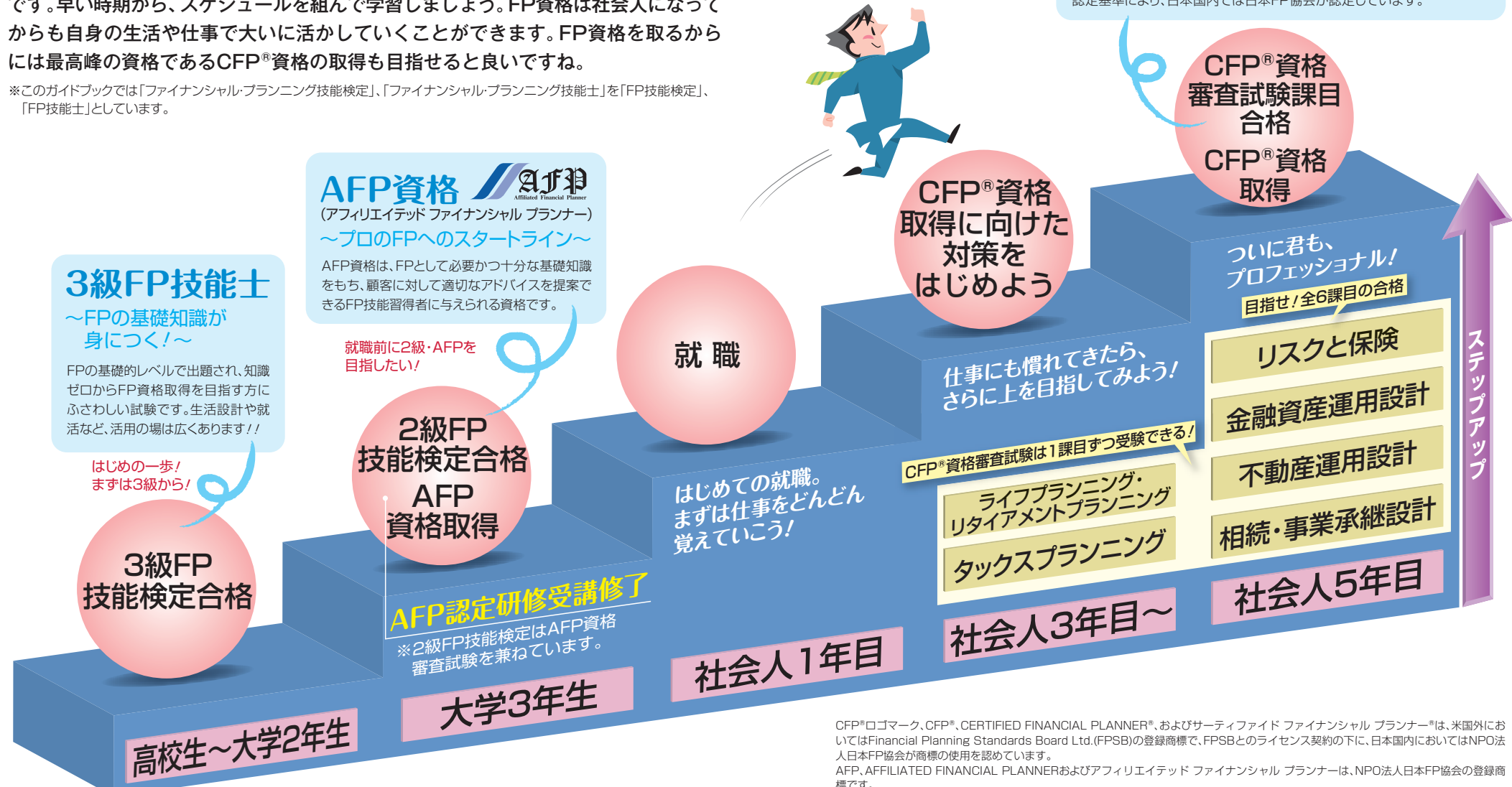
※このガイドブックでは「ファイナンシャル・プランニング技能検定」、「ファイナンシャル・プランニング技能士」を「FP技能検定」、「FP技能士」としています。

CFP®資格

(サーティファイド ファイナンシャル プランナー®)

～世界で信頼されるプロフェッショナル資格～

CFP®資格は「世界が認めるプロフェッショナルFPの証」で米国をはじめ世界各国・地域で認定されています。国際CFP®組織(FPSB)が確立する認定基準により、日本国内では日本FP協会が認定しています。



CFP®ロゴマーク、CFP®、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®、およびサーティファイド ファイナンシャル プランナー®は、米国外においてはFinancial Planning Standards Board Ltd.(FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。
AFP、AFFILIATED FINANCIAL PLANNERおよびアフィリエイト ファイナンシャル プランナーは、NPO法人日本FP協会の登録商標です。



~FP資格にチャレンジしよう!~

目標を定めよう!!

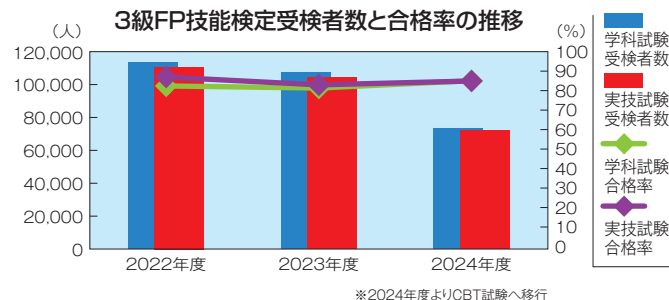


FPの基礎知識を身につけたい!

というあなたは

3級FP技能士

まずは基礎知識の習得から! これからじっくり学んでいきたい方にもおすすめです!

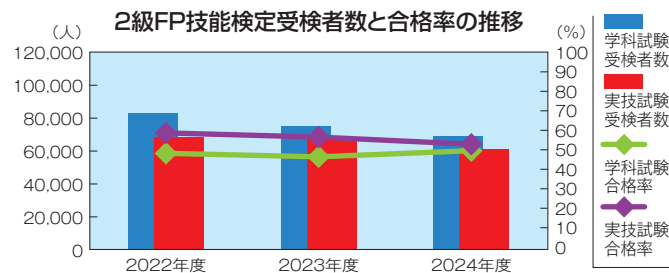


就職後、会社での業務にFP資格を活かしたい!

というあなたは

AFP資格
2級FP技能士

積極的にFP資格を活かそうと考えている方におすすめです! 実生活でも仕事でも活かしていけるようになります。

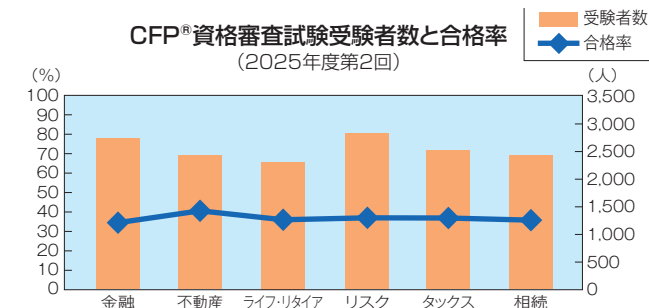


さらにステップアップをめざしたい!

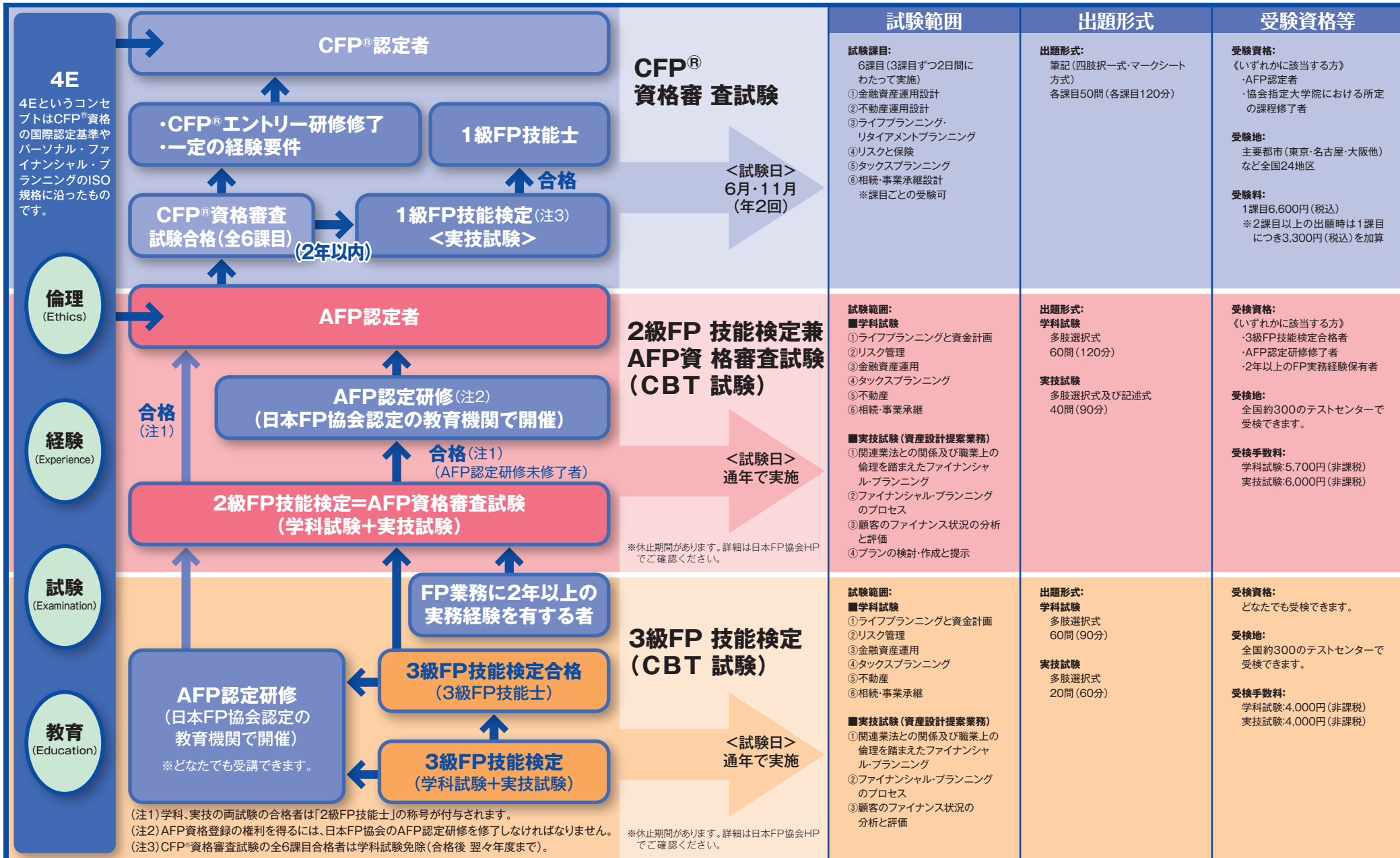
というあなたは

CFP®資格

FPのプロフェッショナル! 専門性が高く、高度な知識が必要ですが、取得すれば知識も信頼度もぐんと上がります。



試験制度



日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 (日本FP協会) ってどんな団体?

日本FP協会は、ファイナンシャル・プランニングの重要性を広く社会に伝えるとともに、ファイナンシャル・プランナーの養成を通して、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とした特定非営利活動法人(NPO法人)です。日本国内はもとより、海外のファイナンシャル・プランニング関係機関との連携も行っています。

生活者の豊かな生活設計を願い、様々な活動を実施しています。

特定非営利活動法人(NPO法人)として、生活者ひとりひとりがファイナンシャル・プランニングの役割と重要性を理解し、FP(ファイナンシャル・プランナー)に相談し、ライフプランを立てることで生活の向上に寄与するよう、様々な活動を実施しています。

- FPフォーラム ●FP広報センター ●パーソナルファイナンス教育(金融経済教育)
- くらしとお金のFP相談室 ●CFP®認定者検索システム

高い能力と厳格な倫理観をもったFPを養成しています。

資格認定を行う自主規制機関として、認定するFPに高い能力と厳格な倫理観を求めるとともに、FPとしての知識・実務能力の継続的な向上も求めています。常に自己研鑽を行い、質を高めたFPが生活者に信頼されることで、ひとりひとりの夢や目標が達成され、生活が向上することをめざしています。

- AFP・CFP®資格の認定 ●FP技能検定試験 ●継続教育と資格更新 ●FPの専門能力の向上支援
- 会員倫理規程等の制定

海外のFP組織との連携を通じてFPの国際的な普及に取り組んでいます。

CFP®資格は多くの国・地域で導入されている高度なFP資格であり、日本FP協会は世界第3位のCFP®認定の実績を持ち、世界各国のFP組織と情報交換や連携を行っています。他国の有用な情報を国内で活用するとともに、今後CFP®資格や関連するFP資格を導入する国・地域への支援を提供することで、国際的なファイナンシャル・プランニングの普及とFP資格の質の維持・向上をめざして活動しています。

- 世界が認めるFPの頂点「CFP®資格」 ●国際組織FPSB

くらしに役立つ マネークイズ

ライフステージに応じたお金の知識をクイズ形式で学べるウェブサイトです。



お金に関する知識を学べる

FPによる解説で知識を深められる

日本FP協会HPからチャレンジできます



Q1 FP資格取得のために勉強をしたいのですが、どのような勉強方法がありますか?

A 通学教育や通信教育を行っている資格学校もたくさんあります。また、様々な市販のテキストも出版されています。AFP資格の取得には、日本FP協会が認定する教育機関が行う講座(「AFP認定研修」)の修了と、2級FP技能検定の合格が必要であるため、AFP取得をめざして勉強する方は、「AFP認定研修」に認定されている講座を受講し、2級FP技能検定の学習をすると良いのではないのでしょうか。

Q2 FPとは全く関連性がない学部の学生でもFPになれますか?

A 経済や金融系の学部でなくても十分可能です。まずは3級FP技能検定から学習することをおすすめします。もちろん高校生も学科にこだわらずチャレンジできます。

Q3 日本FP協会に入会する魅力は?

A 主に以下のような魅力が挙げられます。

- ① 会報『FPジャーナル』で学べる
日本FP協会が発行している会報誌がお手元に届きます。FPを取り巻く最新情報やレポートなどが掲載されており、情報収集や学習のツールとして活用できます。
- ② 「Myページ」での情報収集
日本FP協会の会員が利用できるWebサイトが「Myページ」です。FPに関する情報をタイムリーに提供しており、FPにとって不可欠な情報が得られます。
- ③ 支部活動への参加が可能
日本FP協会には各都道府県に支部が設けられており、各支部で金融経済教育等を行っています。活動を通して、社会に貢献でき、様々な業種のFPとネットワークを作ることできます。



Q4 入会にかかる費用が心配です。

A 学生・生徒の方には「学生割引制度」の適用があります。学生割引制度の適用により入会金が免除され年会費が半額となります。

Q5 AFP資格と2級FP技能士の違いは?

A 2級FP技能士は2級FP技能検定に合格することで取得できます。AFP資格は、日本FP協会が独自に認定している資格です。AFP資格を取得するには、2級FP技能検定の合格を含め、AFP認定研修の修了や日本FP協会の定めるFPの職業倫理に関する規程等を順守することへの同意が必要です。AFP認定後は2年ごとに資格の更新が必要であり、所定の学習による単位を取得しなければなりません。そのためAFP認定者には継続的な学習が求められ、これらが高い信頼性を得る要因の一つとなっています。

FPまたは日本FP協会に関する情報はこちら



日本FP協会HP
<https://www.jafp.or.jp/>

日本FP協会 検索



携帯電話・スマートフォンからも可



試験のお問い合わせ ☎ 03-5403-9890 (9:30 ~ 17:00(土・日・祝日を除く))



ひとりひとりの夢をかたちに

日本FP協会

